

## 第43回 多摩めぐり

2024  
4/21(日)

多摩を深める

## 戦争遺跡の浅川地下壕と緑の聖域武蔵陵墓地をめぐる



浅川地下壕の内部



みころも霊堂



京王御陵線橋脚跡

浅川地下壕は終戦の1年前、昭和19年(1944)9月に旧日本陸軍によって、東高尾山稜、金比羅山、初沢山の地下にイ、ロ、ハの3つの地下壕が掘削され、イ地区は旧中島飛行機の地下工場として使用されて「隼」などの軍用機のエンジンが造られた。イ地区の総延長10kmの碁盤目のような壕内に入ると、削岩機の穴跡やトロッコ線路の枕木跡なども見られ、ここで4,000人もの作業者が労働した跡を偲ぶ事が出来る。ロ、ハ地区は未完成だった。戦争体験が風化していく中、平和学習の遺跡として貴重な場所だ。

天皇陵は過去より関西周辺に造られていて、明治天皇は京都の伏見桃山陵に埋葬された。武蔵陵墓地は、大正天皇が崩御された後、大正15年(1926)10月に公布された皇室陵墓令に基づいて東京府南多摩郡横山村から浅川村、元八王子村(現八王子市)にまたがる御料地に造営された。武蔵陵墓地には大正天皇(多摩陵:たまのみささぎ)、貞明皇后(多摩東陵:たまのひがしのみささぎ)、昭和天皇(武蔵野陵:むさしののみささぎ)、香淳皇后(武蔵野東陵:むさしのひがしのみささぎ)の各陵があり、いずれも上円下方墳の形状である。陵墓へは甲州街道からケヤキ並木が続き、陵墓地内には北山杉が植えられ荘厳な雰囲気を感じられる。参拝の後は浅川の土手を歩きながら、多摩陵参拝のために敷設された御陵線の跡を探してみませんか。



熊野神社の縁結びの木



武蔵野陵(昭和天皇陵)



武蔵陵墓へ続くケヤキ並木

## ◆コース

JR 高尾駅南口 → 高乗寺 → 浅川地下壕(案内:「浅川地下壕の保存をすすめる会」) → 高乗寺 → JR 高尾駅南口(昼食) → JR 高尾駅北口 → 熊野神社 → 旧甲州街道 → 東浅川宮廷駅跡 → 陵南公園 → 武蔵陵墓地 → 京王御陵線駅跡 → 京王御陵線橋脚跡 → 「横山事務所前」バス停(解散)

\*集合日時 : 2024年4月21日(日) 午前9時15分 \*雨天実施

\*集合場所 : JR 中央線高尾駅南口改札外

解散は、甲州街道「横山事務所前」バス停(午後3時半頃の予定)

\*ガイド : 菊池 等・前田けい子

\*費用 : 参加費1,200円(資料代、傷害保険料)、浅川地下壕見学料500円 合計1,700円  
別途、帰りのバス代(320円)

\*募集人員 : 30名(先着順) 地下壕内は素掘りのため、歩きにくいので自信のない方はご遠慮ください。

\*持ち物 : 飲み物・雨具・筆記用具、  
地下壕へ入るために→懐中電灯(LEDまたは大型懐中電灯)・軍手・濡れてもかまわない靴  
(詳細は裏面に)

※昼食は、JR 高尾駅南口周辺の飲食店を利用します。(持参の弁当を食べる場所はありません)

\*申込方法 : 氏名・年齢・住所・電話番号を明記し、Eメールで「多摩めぐりの会」事務局へ

\*申込と問い合わせ : 「多摩めぐりの会」事務局 Eメールアドレス [tama.meguri@gmail.com](mailto:tama.meguri@gmail.com)

\*当日の連絡先 : 090-7286-2124 (味藤)

申込締切 4月14日(日)

予告 : 次回は5月18日(土)「南町田グランベリーパークと鶴間」を開催予定。

## 【浅川地下壕へ入る際の注意事項】

- ① 地下壕の中は電灯が無いため、真っ暗です。入口付近は、排水状況が悪いです。ついでには、次の物を用意してください。
  - ・ LED ライト又は大型懐中電灯（単一電池が 4 本入るもの）で明るいもの
  - ・ 歩きやすく濡れてもかまわない運動靴等
  - ・ 軍手持参、汚れても良い服装で
  
- ② 「浅川地下壕の保存をすすめる会」が用意するヘルメットを着用します。  
なお、地下壕の中は素掘り状態で、むき出しの岩をコンクリートなどで覆うような安全対策がなされていません。足元は石がゴロゴロしています。  
転倒などは自己責任になります（保険の補償は付けます）。